ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和2年度公開講座

GIFU NETWORK UNIVERSITY CONSORTIUM GUC

岐阜に生きる 岐阜と生きる

第1回　5月28日(木)
がんと診断された働く人の治療と仕事の両立支援
（岐阜県立看護大学成熟期看護学領域 教授 梅津 美香）

第2回　6月11日(木)
人付き合い（コミュニケーション）とストレス
（岐阜医療科学大学看護学部 教授 杉浦 浩子）

第3回　7月9日(木)
発達障がい自助グループで岐阜と滋賀との懸け橋を
（岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科 講師 稲葉 政徳）

第4回　9月3日(木)
岐阜産食材を活用した健康法
（岐阜市立女子短期大学副学長 食物栄養学科 教授 道家 晶子）

第5回　10月1日(木)
地域で育む輝く子どもの未来 －児童虐待防止に向けて私たちができること－
（大垣女子短期大学歯科衛生学科 教授 海原 康孝）

第6回　10月15日(木)
特定交差点における事故要因に関する研究
（中日本自動車短期大学 モータースポーツエンジニアリング学科 教授 及川 浩和）

第7回　11月19日(木)
経済学で環境を考える
（高山自動車短期大学 准教授 長野 達也）

第8回　12月17日(木)
健康で長生きをするために ～介護予防とらくらく介護～
（平成医療短期大学リハビリテーション学科 理学療法専攻 准教授 石田 裕保）

第9回　1月21日(木)
岐阜県でのアクティブな学習の取組-学生ベンチャーの育成の取組および算数・数学甲子園の取組-
（岐阜工業高等専門学校建築学科 教授 小川 信之
一般科(自然) 教授　中島 泉）

第10回　2月18日(木)
日常をずらす気付きのデザイン
（情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科 准教授 瀬川 晃）

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、令和2年度公開講座「岐阜に生きる 岐阜と生きる」を開催します。岐阜県内の大学等の教職員が、最近の研究成果等を踏まえ、岐阜県の産業・技術・自然・教育など、岐阜に関する様々な身近なトピックをお話します。高校生以上の方ならばどなたでも無料で参加いただけます。また、一部の講義は、インターネットによるオンデマンド配信により受講することもできます。

受講料無料

会場：岐阜大学サテライトキャンパス
時間：14:00～15:30（受付13:40～）
申込：裏面参照（オンデマンド受講可）

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜事務室　連絡先
TEL:058-212-0393　FAX:058-212-0391　メールアドレス:info@gifu-uc.jp　ホームページ:http://www.gifu-uc.jp

講義概要

第1回	がんに関する統計や罹患や治療等の現状および両立支援についての国の施策や方向性について概説するとともに、岐阜県の事業場における両立支援の現状や課題、医療機関の看護師の両立支援の活動について、質問紙調査や面接調査の結果を用いて解説する。さらに、がんに限定せず、職場と医療機関の協働による両立支援の促進に向けた取り組みを紹介し、これからの課題について検討する。
第2回	人づきあいはストレス源にもストレス対処にもなります。岐阜県民は家族を含め、人と集うことを好む傾向があり、人づきあいはストレス対処の側面が大きかったと考えられます。しかし近年、価値観の多様化などに伴い、人づきあいがストレス源となる人が増えてきました。人づきあいがストレスになる、ストレスにならない、この２つの違いは何なのでしょうか。その答えをわかりやすく面白く解説します。
第3回	当方が主宰する発達障がいサークル「東近江凸凹ネットワーク」には、岐阜県西濃地域からも参加されている。隣県ではあるも、関西と東海という異文化圏との交流はサークル内にも好影響を与えている。今回の講座では、凸凹ネットワークの活動、滋賀県東部と岐阜県西濃地域との交流を紹介する。また、発達障がい当事者が自分らしく生きていくための課題と展望について参加者と意見交換をしながら進めていく。
第4回	岐阜には、飛騨美濃伝統野菜、こめなどの農産食品、飛騨牛や奥美濃古地鶏などの畜産食品、長良川の鮎をはじめとする水産食品があります。岐阜県民の栄養調査結果では、野菜摂取量の不足が顕著で、肥満の増加や糖尿病予防の自己管理の難しさが示されています。そこで、食品学の視点から岐阜産食材の栄養と機能を検討し、毎日の食生活に活用する方法を探ります。健康の維持や病気予防だけでなく、地産地消の促進や食品ロス削減にもご活用ください。
第5回	近年の児童虐待の増加は，早急に解決しなければならない深刻な社会問題です。子どもが自ら虐待を受けたことを口にすることは期待できません。児童虐待の早期発見･防止には，周囲の人間の気づきや協力，援助が不可欠です。この講演会では，児童虐待防止のために私たちができる地域での助け合いや親子への関わり方について共に考えます。子どもの心身の健全な成長を育む街を一緒に目指しましょう。
第6回	大学周辺地域には交通事故が多発する交差点が存在する。交通事故の背景には，その地域固有の環境や，そこで暮らす住民の日常活動のあり方などが関係していることがある。こうした事故関連因子を交通事故の「属地性」と定義する。本研究では属地性の観点から当該交差点とその周辺を調査･研究し，効果的で受け入れられやすい解決策を提案する。
第7回	公害問題が深刻化した高度経済成長期に「くたばれGNP」と題した特集が新聞で組まれた。確かに、経済成長＝豊かさの増大ではないし、まして国民がより幸福になることとイコールでもないが、「経済成長＝悪」といった見方もやはり問題であろう。本講座では、駅前の放置自転車やゴミのポイ捨て、交通渋滞などといった身近な環境問題を取り上げ、経済学の発想でそれらの解決策を考えてみたい。
第8回	現代社会において、65歳以上の高齢者は、3588万人（2019年9月15日現在推計）で総人口に占める割合は28.4%となっています。今後さらに高齢者の割合は増えていきます。そんな中、健康で長生きをしたいと考える人は多いと思います。理学療法士の観点で、ヒトのからだの構造･機能を紹介し、予防運動を紹介します。また、万が一、誰かの介護が必要となった時、介助者が楽に介助を行うことが出来るようポイントを紹介します。
第9回	講演では、岐阜県大垣市のソフトピアジャパンとの連携した学生ベンチャー育成の取組の内容や算数･数学甲子園での最近の取組内容などを紹介する。『解析概論』『代数的整数論』などの今も名著とされる数学教科書を著した高木貞治博士は、第１回フィールズ賞選考委員を務め、文化勲章も受賞している。岐阜工業高等専門学校では、地理的に高木貞治博士の生家と近いことが縁となり、本巣市に協力して数学での地域おこしの取組を行っている。
第10回	社会や暮らしの中で「デザイン」という言葉を目にする機会が増え、一般的な意味から細分化しています。近年の情報化社会において視覚に偏った日常から、人々の関心がより体験へ移ってきているように思います。講座では研究活動を通して「描くこと」や「食べること」など、体験からしか得られない身近なテーマを取り入れた新しい気付きを促すデザイン事例を紹介します。

※各回とも募集定員は50名(先着順)です。

会場：岐阜大学サテライトキャンパス

（岐阜市吉野町6-31 岐阜スカイウイング37東棟4階）

会場である岐阜大学サテライトキャンパスへは、岐阜スカイウイング37東棟のエレベーターにて、4階までお越しください。エレベーターを4階で降りていただき、右手にお進みいただくと、岐阜大学サテライトキャンパスに到着します。

お車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。

申込方法

1.ネットワーク大学コンソーシアム岐阜ホームページの申込フォームから申込

2.電話･FAX･メールのいずれかにて下記の情報をコンソ-シアム事務室まで連絡

FAX用　受講申込書　（FAX送付先番号：058-212-0391）

以下のとおり、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和2年度公開講座（岐阜に生きる）に参加を申し込みます。

お名前（フリガナ）	□男性　□女性		
電話番号		第２電話番号（ＦＡＸ）	
メールアドレス	※オンデマンド配信希望の方は記入必須		
受講希望回	□第1回　□第2回　□第3回　□第4回　□第5回　□第6回　□第7回　□第8回　□第9回　□第10回 □オンデマンド配信（インターネット受講）を希望します		
住所	〒　　－		
年齢	□10代　□20代　□30代　□40代　□50代　□60歳以上		
個人情報の同意	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜から他の講義や講座情報をご案内するため、お名前･住所等を利用させていただいてよろしいでしょうか。　□同意する　□同意しない		

お申し込み時にいただいた個人情報は、講座担当大学等と共有させていただく場合があるほか、休校など講座に関するご連絡やコンソーシアムからのイベント情報のご案内（同意を得た方のみ）に利用させていただきます。情報は厳重に管理し、法令上の理由など特段の事情がない限り許可なく第三者への提供はいたしません。